

教団新報

定 価 1 部 220 円 (本体 200 円 + 共 283 円)
予約購読料 1 年分 千 共 3,962 円
紙代のみ 3,080 円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03 (3202) 0546
FAX 03 (3207) 3918
URL <http://uccj.org>
発行人 網 中 彰 子
編集主筆 嶋 田 恵 悟
印刷所 株式会社きかんし



久美愛教会 (関東教区)

イースター メッセージ

新しい命に生きる

ローマの信徒への手紙 6 章 3 ～ 11 節



澁谷 弘祐

それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその死にあずかるために洗礼を受けたことを。わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。

(ローマの信徒への手紙 6 章 3 ～ 5 節)

罪が迫って苦しむ時

復活は私たちの希望です。復活を信じることで、私は希望を得ました。その希望は私自身の命が滅ばされる、すなわち完全に失われる恐れはなくなった上に、二度と恐れのない安心・安全な生涯を頂いたという喜びです。復活を信じるこ

は変わりませんが、そのように感じています。こどもの頃は聖書に書かれた通り

に信じていたのに、勧められたままに信じ、信仰告白の際にはキリストが私のために死んでくださったことを信じ感謝し、牧師とされてからは

た通りに信じるように勧められたままに信じ、信仰告白の際にはキリストが私のために死んでくださったことを信じ感謝し、牧師とされてからは

罪が迫って苦しむ度にキリストの命が働いて私を危うい道から助け出して

イエスの復活が我が身にも

このことが意識されるのは洗礼の時です。イエスに向かっているつもりが、実は向こうから近づいて来られると気付いた時に、イエスとの関係の捉え方も同様に変わります。私がイエスに関わるのではなく、イエスが私

に関わってくださる事実が心に沁み渡ります。そしてイエスが私を覆い、その生き方をもイエスが歩んだように整えてくださいます。イエスを信じる者はイエスによって整えられ、イエスと同じ思いとなるように、イエス

の身に起きたことが我が身にも起きるように祈ります。その結果、イエスを死者の中から復活させた神の力がイエスを信じる者にも働き、イエスと同じく復活させてくださると信じることができるようになります。

イエスの身に起きたように復活を信じる人は、未来に訪れる自身の復活の約束によって予め死から解放されます。解放された人生・生き方が新しい命の在り様です。この新しい命に生きる時には、罪のまたらす死は問題ではなく、罪のないうちに留まり、罪のない状態として新しい命を与えられて生きているから

です。それにもかかわらず罪を犯すことに無頓着であるならば、自分から死を招いていると言えるでしょう。イエスが罪のために徹底的に苦しめられて、ご自身では罪の死から逃れられなかった事実が、誰一人として罪から逃れられないことを示しています。必然の死に向かうことは、神がイエスを復活させキリストとし

キリストを身に纏って

復活が信仰生活において決定的に大切なのは、イエスがキリストであることが出来たことが復活であるからではないでしょうか。復活を通して私たちは信仰に3つの同一性が必要であることを知ります。

この「同一性(同一化)」とは The Layman's Bible Commentary (邦訳: 聖書講解全書、発行: 日本基督教団出版局) で

の Kenneth J. Foreman の言葉ですが、イエス・キリストの持つ関係性を指します。

第1はイエス・キリストと神との同一性です。罪の誘惑を受けた人の多くが罪を犯します。イエスに對しても、神と敵対させようとする力が働きました。それでもイエスは誘惑に打ち勝ち、神に敵対せず従順な態度を

とて、イエスは人間の身で優れた存在であって、人間を救う存在として受け止められませんでした。イエスはあくまで人間であり、キリストではない。イエスはあくまで人間であり、キリストではない。イエスはあくまで人間であり、キリストではない。

第2はイエス・キリストと罪人の同一性です。イエスは徹底的に人間として生きました。その結果、罪の誘惑と対峙しま

た。誘惑に負けていく人々に責められながら、キリストは十字架の死に至るまで従順でした。罪の最も苦しいところを歩きました。

第3に罪人とイエス・キリストの同一性です。イエスをキリストとして信じた者は新しい命を得ます。十字架で血を流すイエスを仰ぎ見て私たちの罪の贖いを知り、そのイエスが復活した姿に、私たちもイエスのように生き、復活する希望が与えられます。私たちが感じるこのイエス

の愛やゆるしや励ましといった恵みの数々は、このことによっています。

口語式文の聖餐式の感謝の祈禱に「キリストの復活の力を知り、その苦しみにあずかり、おりを得ても得なくても、みことばを宣べ伝えることができますように」とあります。弱さや無力の日々ですが、キリストを身に纏っている故に生かされている恵みを感じ、新しい命に生きたいと願います。

(久美愛教会牧師)



日本キリスト教会館を会場に

2025年

春季教師検定試験

補教師試験23名、正教師試験9名が合格

日本語を母語としない受験者にパソコン受験を実施

2月25日から27日まで、早稲田の日本キリスト教会館を会場に、2025年度春季教師検定試験が行われた。春季は、教団立及び教団認可の神学校を卒業して補教師試験を受験する方々が多く、今回の受験者数は、補教師試験32名、正教師試験12名であった。他に、他教派からの正教師転入審査2名が行われた。

教師検定試験は礼拝をもって開始される。それは、受験者も教師検定委員も共に主なる神の御前に歩み出て、御心によって我々を教師へと召し出されるお方を崇めることが何よりも大切だからである。礼拝では横山良樹

委員が説教を担当し、創世記22章1～14節からアブラハムとイサクには見えていない彼らの背後に必要なものが備えられており、神は我々の思いを超えた先を御覧になっていることが語られた。不条理な現実の中で我々は、神が前も後ろも見ておられるという摂理の信仰に生きるのであり、教師となるための手続きを一つひとつ踏んでいく際にも、神からの召しと摂理を確認していくことが示された。

従来と同様に、事前に旧約及び新約の説教・釈義と組織神学論文、神学論文等が提出されており、会場では、一日目に筆記試験、二日目・三日目に面接試験が行われた。今回新たなこととして、日本語を母語としないために漢字の筆記に著しい困難を覚える再受験の受験者に対して、別室でのパソコン受験を実施し、3名がこの方法で筆記試験を受けた。

言葉として自分自身に響いてくる経験を積み重ねてほしいと願う。また説教では、釈義に基づいていない内容で語るものが見受けられた。丁寧な釈義に基づいて深く黙想し、それを説教の言葉に結びつける力を身につけてほしい。

筆記試験では、旧約聖書神学、新約聖書神学とちらにおいても聖書を貸し出しているが、重要な聖書箇所が挙げられていない答案が多かった。この面でも、普段から伝道を献身者として聖書によく親しむことが求められる。

面接試験は、一人ひとりの信仰の経歴と召命の自覚についての確認を中心に行われる。受験者には、準備として面接試験事前レポートを提出してもらっている。しかし、丁寧に行おうとするとうしても時間が延びてしまい、長く待つてもらった受験者もあって申し訳ないが、受験者の方々にも、日本基督教団がどのような教会であるか、また、教団の教師への召命をどのように確かめてきたかを簡潔に語れるよう準備を切に願う。

(春原禎光報)

講評

補教師の新約説教の課題で示された「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ」という一言。日本基督教団という教会がこの方の血潮によって贖いとられた教会であることを受験者と共に見つめる教師検定試験とされた。試験のために課せられた聖書箇所としてだけでなく、受験者がイエスさまを証しする喜び、望みを語ることが期待された。残念ながら自分のこととして聖書に聞くことができた受験者は多くない。解説に終始し、教師として召し出された方との関わりが不明瞭であった。それは日頃の聖書の素読の不足も一因としてあげられる。多くの働きを求められる教師の務めにあって、その基本は言葉に親しむことである。わたしたちが宣べ伝えるのは、み言葉を通して受け継いできた教会の信仰であるのだから。

第42総会期 教師検定委員長

清藤 淳

2025年春季・補教師試験問題

教憲教規および諸規則・宗教法人法 (60分)

次の2題について答えてください。

1. 教会総会と役員会について、教憲教規がどのように定めているか説明してください。また教会総会と役員会の関係について述べてください。
2. 宗教法人である教会が「公告」を行わなければならない事例について述べてください。

旧約聖書神学 (60分)

次の2題について、神学的に論じてください。

1. アブラハムの義について
2. 祭司の務めについて

新約聖書神学 (60分)

次の2題に、神学的に論じてください。

1. マタイによる福音書における「天の国」について、聖書箇所をいくつか挙げて論じてください。
2. ヘブライ人への手紙について、聖書箇所をいくつか挙げて論じてください。

公告

教師検定委員会では、教師検定規則第6条⑥に基づき、同規則第3条6号対象者(所謂Cコース受験者)に対する認定面接を左記のように実施します。

2026年春季試験以降に新たにCコース受験を志願される方は、本委員会の指定した書類を2025年7月18日(金)までにご提出いただき、左記日程の面接にご出席ください。なお、面接要領・提出書類用紙については、一〇〇円切手を同封の上、本委員会事務局に直接お申込みください。

★認定面接

日時 2025年9月18日(木)午後
場所 大阪クリスチャンセンター

なお、認定面接予定者には、書類受付後、正確な日時等の案内通知を送付します。

2025年4月26日

日本基督教団教師検定委員会

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
電話 03-33202-0546



講評を述べる清藤委員長

石川一雄
さんが3月
11日に逝去
された。昨
年9月に行
われた、「キ

リスト者による狭山要請行動」で、再審を求める要請文を東京高等裁判所と東京検察庁に提出する場に、取材者として同行していただけた衝撃を禁じ得ない。▼教会は、主イエスの地上の歩みを「ボンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け」たものと告白して来た。ピラトは、殺害を企てたわけでもなく、裏切ったわけでもなく、無責任な叫び声を上げたのでもない。主イエスが何も悪いことをしていないことを見抜きながらも、最終的には群衆を恐れて十字架に引き渡した。ピラトの姿勢には、神よりも人を恐れ、真理よりも自己保身を優先させざるを得ない人間の支配の限界が現わされている。神の独り子が人間の罪を担った苦しみが、人間の支配が生んだ冤罪によってもたらされたのは示唆的だ。▼「最大の悲劇は、悪人の暴力ではなく、善人の沈黙である」。キング牧師が見ていた「最大の悲劇」が乗り越えられない限り、科学的捜査が進み、法制度が整えられたとしても冤罪は無くなるのかかもしれない。改めて、「善人の沈黙」に陥る一人のピラトとして歩んでいる自らを省みたい。

▼伝道委員会▲

教区伝道委員長会議に集中

第43総会期第1回伝道委員会が3月14日、教団事務局3階スタジオで開催された。主な議案は以下の通り。

(1) 今期委員及び委員会組織

委員長・中西真二、書記・山口紀子。宣教委員出席・中西、鈴木善姫。刑務所伝道担当・宮本裕子、荒井偉作。「こころの友」「信徒の友」編集委員会担当・石井佑二、山口。農村伝道担当・荒井、鈴木。青年伝道担当・片岡宝子。

さらに前総会期で活動を閉じた伝道推進室の経緯と要望を雲然俊美教団総会議長から聞き、二つの働きを引き継いだ。委員会は担当者新たに選任した。「日本伝道の推進を祈る日」担当・石井、片岡、山口。小規模教会支援担当・中西、宮本。

(2) 2024年度会計報告・2025年度予算案の承認。

(3) 今期委員会の方針と計画

今期委員は7名のうち5名が再任のため、継続することで精一杯であった前総会期よりも踏み込んで活動方針と計画を立てることができた。

今期は教区伝道委員長会議開催に集中し「農村伝道」に関する協議会は次期へ見送る。

(4) 2024年度後期分会堂貸出金の件

境南教会(西東京教区)より申請があり1000万円の貸出を承認した。

(5) 2024年度開拓伝道援助金申請の件

*大磯教会(神奈川教区) 会堂増改築工事のため。*長岡教会(関東教区) 新牧師館取得、消雪設備を備えた駐車場整備のため。*東京新生教会(西東京教区) 会堂階段改築のため。

3教会各200万円、合計600万円の援助申請を受け付けた。3教会



左から、鈴木、荒井各委員、中西委員長、石井委員、山口書記
ズーム画面上から、片岡、宮本各委員

に問安を行った上で、次回委員会にて審議、決定
(山口紀子報)

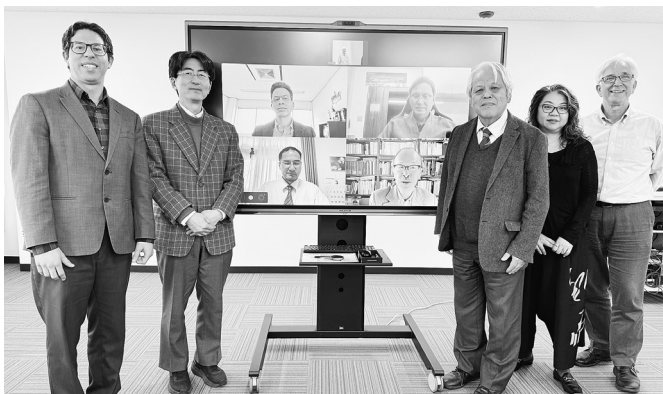
▼世界宣教委員会▲

エキュメニカル奨学金「原則2名」に

第43総会期第1回世界宣教委員会が、3月21日、網中彰子総幹事の同席のもと、教団会議室で対面・オンラインによって開催された。今期の委員並びに委員会組織は以下の通り、委員長・廣石望、書記・塚本吉興、白正煥、

よび諸教会から受け入れられている宣教師に関する事項、②協力関係にある教会との宣教協力、③世界宣教協力に関する調査と運営、④上記事項を遂行するための小委員会の設置と運営。続いて、小委員会委員選任についての総幹事提案が出され、国際関係委員会、韓国・台湾・スイス協約委員会、宣教師人事・支援委員会の委員を選任した。

2018年以降開催されていなかった宣教師会議について、廣石委員長より、再開を目指したいとの提案があり、デビッド・マッキントッシュ教団事務局職員も加わって企画委員会を立ち上げ、継続協議することとした。



左から、マッカリー、洛雲海、宮本各委員、星山、マッキントッシュ各職員
ズーム画面上段左からジャンセン、白各委員
下段左から塚本書記、廣石委員長

「I Love Taiwan Mission 2025」について、2025年度も募集し、派遣することを確認した。

(塚本吉興報)

▼出版局理事会▲

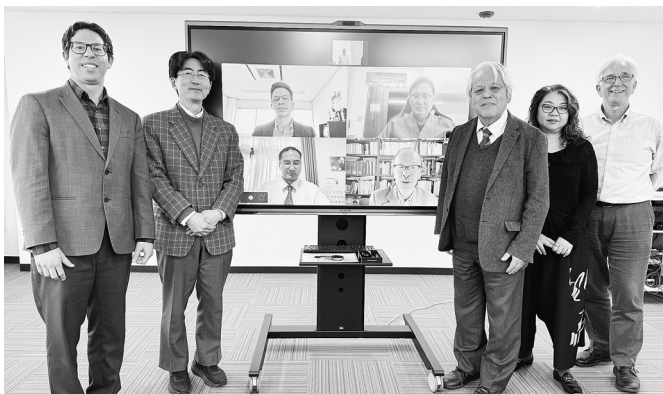
退職準備金借入を責任役員会に申請

日本基督教団出版局の第43総会期第1回理事会が、2月21日に全理事・監事の出席の中で開催された。冒頭に出版局理事会の使命と役割を共有するために、出版局より資料に基づき説明が行われ、種々意見交換を行って出版局の課題を共有した。

その後、理事長・書記選任を行い、高橋潤理事が理事長に、飯塚拓也理事が書記に選任された。その後、諸報告を受けたが、財務報告の中で2024年度決算において厳しい決算となる旨が報告され

金借入を行う必要があることである。全国の諸教会・伝道所の祈りとお支えにより、難局を乗り越えていきたいと願っている。また、長く出版局長代行の重責を担ってくださった飯光氏に感謝しています。

(飯塚拓也報)



左から、マッカリー、洛雲海、宮本各委員、星山、マッキントッシュ各職員
ズーム画面上段左からジャンセン、白各委員
下段左から塚本書記、廣石委員長

「I Love Taiwan Mission 2025」について、2025年度も募集し、派遣することを確認した。

(塚本吉興報)

▼在日韓国朝鮮人連帯特設委員会▲

外国人住民基本法の制定を求める署名に協力

私どもの生きる社会は多種多様な人々によって構成されている。私どもはそれらのよき隣人であることが求められている。そのような願いを実現すべく、在日大韓基督教教会との宣教協約に基づ

き、教団常議員会のもとに「在日韓国朝鮮人連帯特設委員会」が設置され、それらの課題に取り組みキリスト教諸団体と意思を共有している。

2月27日に本委員会の第2回委員会をスムーズに

全国集会への委員長の派遣を決めており、その報告から第2回委員会を始めた。

委員会においては外ギ協から依頼された外国人住民基本法制定を求める署名について今年度も協力することを決め、また、

◆公募◆

I Love Taiwan Mission 2025 台湾基督長老教会主催の 青年宣教プログラム

◎日時 7月3日(木)～7月17日(木)
◎事前研修 5月31日(土) 14時～16時
◎場所 新北市、新竹市
◎費用 航空券補助(上限7万)、保険全額負担
◎締め切り 5月9日、必着
◎問合せ somu-b@uccj.org



▼教師委員会▲

新任教師オリエンテーションの内容を協議

第43総会期第1回教師委員会が3月14日、教団小会議室にて開催された。委員は次の通り。福島純雄（招集者）、内城恵、願念望、齋藤篤、清藤淳、町田さとみ、宮川経宣。これに道家紀一総務幹事と新名知子担当職員が加わる。

始めに組織会を行い、委員長に招集者の福島委員、書記に清藤委員を選任した。

協議事項として3点。一つ目は「新任教師オリエンテーション」に関して、6月23～25日、ハートピア熱海を会場に開催することを決定。対象は過去3年間の准允受領者、教師転入者、教育主事合格者など。主題は「伝道を共に担う教団の教師」。講師の選定、プログラムの検討を行った。

二つ目は「教師継続教育プログラム」に関して、8月25～27日、関西セミナーハウスを会場として行うことを決定。主題は「説教・牧会」とした。対象は准允および転入後10年までの教師を原則とする。確認。こ



左から、齋藤、願念各委員、福島委員長、清藤書記、宮川、内城、町田各委員

ちらも講師の選定、プログラムの検討、担当者の割り振りまで行った。また参加費は1万5000円、交通費補助も1万円を越えた分を補助することとした。案内は各教区

事務所を通して行うこととした。

三つ目は、教団立神学校および認可神学校問安の件。東京神学大学、農村伝道神学校、東京聖書学校、日本聖書神学校を夏までに、同志社大学神学部、関西学院大学神学部は秋に問安することと計画し、日程について各神学校と相談することとした。（清藤 淳報）

2025 年度 第 6 回
「教師継続教育研修会」開催案内

- ◎日時 2025 年 8 月 25 日（月）14 時～27 日（水）12 時
- ◎場所 関西セミナーハウス（京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23）
- ◎参加対象 准允後 3～10 年までの教師、他教派から転入後 10 年までの教師、教師委員会が承認した者（最大准允後 15 年まで）
- ◎主題 「説教・牧会」
- ◎講師 講演 1＝柳下明子（番町教会牧師・日本聖書神学校）
講演 2＝井ノ川勝（金沢教会牧師）
- ◎参加費 15,000 円（2 泊 5 食含む）
- ◎交通費 参加者負担、但し 10,000 円を超えた交通費を援助。要領収書提出。
- ◎申込締切 7 月 11 日（金）
申込書等送付するのでメールでお申し込み下さい。
e-mail : kyoshi-c@uccj.org
日本基督教団教師委員会

ミャンマー地震被災者救援募金のお願い

主の聖名を賛美いたします。

去る 3 月 28 日、ミャンマー中部でマグニチュード 7.7 の大きな地震が発生いたしました。隣国タイを含めて、多数の死者と行方不明者、被災者が出ています。日本基督教団社会委員会では、すでに支援活動を始めたアトゥトゥミャンマー（ミャンマーのキリスト教生活支援団体）の呼びかけに応じて募金を始めます。

ご協力をお願いいたします。

2025 年 4 月 4 日
日本基督教団第 43 総会期社会委員長 真壁 巖

- ◎募金期間 特に定めず
- ◎目標額 特に定めず
- ◎送金先 加入者名 日本基督教団社会委員会
- ◎郵便振替 00150-2-593699
（通信欄に「ミャンマー地震救援募金」とお書きください。）
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本基督教団社会委員会（電話 03-3202-0544）

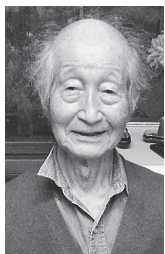
事務局報

川端 諭（隠退教師）



25 年 2 月 17 日逝去、92 歳。北海道生まれ。62 年東京神学大学卒業、63 年より如鷲、尾道吉和、成松伝道所、宝塚福井、堅田教会を牧会し、05 年隠退。遺族は子・川端実さん。

相原晴雄（隠退教師）



25 年 3 月 4 日逝去、92 歳。静岡県生まれ。59 年東京神学大学大学院修了、同年より岡崎、香貫教会を牧会し、アメリカ、カナダ等で在外教師として務め、01 年隠退。遺族は妻・相原セツさん。

遠藤富壽（隠退教師）



25 年 3 月 20 日逝去、92 歳。東京都生まれ。59 年東京神学大学大学院修了、同年より出町教会を牧会し、女子聖学院に務め、浦和領家、浦和西伝道所、現、埼玉通り教会を経て 04 年隠退。遺族は子・穴戸恵美さん。

岩本修一（無任所教師）



25 年 2 月 13 日逝去、87 歳。岡山県生まれ。66 年東京神学大学大学院修了、同年より 69 年まで国立教会を牧会。遺族は妻・マリア岩本さん。

佐藤 仁（隠退教師）



25 年 2 月 23 日逝去、94 歳。山形県生まれ。60 年日本聖書神学校卒業、同年より小高伝道所、勝沼、鴻巣、神奈川教会を牧会し、97 年隠退。遺族は妻・佐藤麗子さん。

齋藤友紀雄（隠退教師）



25 年 2 月 25 日逝去、88 歳。東京都生まれ。60 年東京神学大学卒業、62 年より阿佐ヶ谷、石神井教会を牧会し、いのちの電話に務め、03 年隠退。遺族は子・齋藤恵文さん。

小暮光司（隠退教師）



25 年 2 月 28 日逝去、93 歳。群馬県生まれ。57 年同志社大学大学院修了、

同年より紫野、坂祝、各務原、玉島、京北、東灘教会を牧会し、01 年隠退。遺族は子・谷慰作さん。



25 年 3 月 7 日逝去、95 歳。東京都生まれ。54 年日本基督教神学専門学校卒業、同年より仙台東一番丁、二宮、三春、白河、小金、松阪、大磯教会を牧会し、10 年に隠退。遺族は妻・鳥羽徳子さん。

小林昭雄（無任所教師）



25 年 3 月 16 日逝去、98 歳。広島県生まれ。55 年関西学院大学大学院修了、同年より 95 年まで関西学院大学に務める。遺族は甥の子・恵直子さん。

正教師登録

齋藤 彩
（2024・12・2 受按）
杉野信一郎
（2025・2・22 受按）
大石茉莉
（2024・12・15 受按）
正教師転入
洪 正杓、大橋邦一
（第 2 回臨時常議員会承認）
教師異動
新生 就（代）矢吹大吾
西東京 辞（担）加藤知祈
〃 就（主）加藤知祈
聖蹟桜ヶ丘

辞（担）藤本百合子
成瀬が丘就（担）蓮沼 明
北星学園女子中学校高校
就（教）小西陽祐
三木志染辞（主）近藤泰男
大牟田正山町
辞（主）赤松真希
〃 就（代）矢崎和彦
日本医療伝道会
就（教）赤松真希
横浜磯子辞（担）鳴坂明人
九段 辞（代）林 牧人
〃 就（主）鳴坂明人
卯之町 辞（主）尾崎武蔵
〃 就（代）森分信基
野村 辞（兼主）尾崎武蔵
〃 就（代）森分信基
京都 辞（主）入 治彦
〃 辞（担）入 順子
三木志染就（主）入 治彦
〃 就（担）入 順子
紀伊長島辞（主）森下 研
〃 就（代）嶋田百々子
真和志 辞（主）芳澤 信
〃 就（代）高多 新
元浦河 辞（代）五味 一
〃 就（主）大槻茂勝
教師隠退
田中ケイ子、山本香織、山本裕司、近藤泰男、前島宗甫、五味 一
教師退任
宇佐美節子
教師改姓
森田聖子→パディオス聖子
伝道所廃止
山辺

お詫び・訂正
教団新報 5030 号
6 面「人ひととき」欄
「海に近い飯田地区」
を「海に近い寺家地区」
に、お詫びして訂正いたします。



外観とキャンドルサービスでの集合写真



福島県のほぼ中央に位置し、県内の市では最も少ない人口3万人の街・本宮市。阿武隈川が流れる自然豊かな場所、古くから街道が交差する宿場町として栄えました。現在では県を代表する物流工業都市として発展し、また利便性の良さから、郡山市のベッドタウンとして子育て世代が多く移住するようになり、住みやすさランキングでは11年連続県内1位を獲得するまでに至りました。

古くもあり新しくもある本宮の地に本宮教会があります。創立は1916年5月20日、来年は創立110年を迎えます。東北学院神学部で学びを受けた初代牧師・吉田菊太郎牧師は、阿武隈川沿いに本宮伝道所を開設し、信徒10名、日曜学校48名の方々を牧会しました。1919年吉田牧師が退くと、その後数名の牧師を経て、赤城英夫牧師（1930年〜36年）、井関磯美牧師（1936年〜57年）が働きを担いました。特に井関牧師時代には力強く宣教が推し進められ、本宮保育園（現本宮幼稚園）の開設、ラクーア博士始めとする音楽伝道団（ラクーア伝道）への積極的な協力等、地域の方々へ熱心に宣教し、信徒15名、日曜学校20名、保育園50名となりました。井関牧師退任後は、安井潤牧師が牧会し（1957年〜2015年）、長らく教会と幼稚園、地域の方々に仕え、また菊地一男牧師、佐藤健牧師・七海牧師等も任せ、2022年からは中條康仁が仕えています。

本宮の歴史は阿武隈川氾濫の歴史と言っても過言ではありません。度重なる氾濫と水害を経て2012年阿武隈川の堤防改修工事が行われました。堤防と道路拡張のために教会用地の一部を売却し、その資金と全国諸教会からの献金を通して新会堂が建てられました。改めて心から感謝申し上げます。しかし喜

びも束の間、2019年台風19号によって再び河川が氾濫し（今度は支流の安達太良川でした）、本宮教会を始めとする河川地域は2メートル強の浸水被害に遭いました。まるでバビロン捕囚によって神殿が失われたのよう、悲嘆と絶望の心境となりました。その時期は毎週信徒宅で礼拝を捧げ、いわき郡山地区の皆さんも泥かきや復旧作業を手伝ってもらいました。共に汗をかくて、無事復旧がなされました。本当に感謝でした。

現在は午後2時から主日礼拝を捧げています。先日70年以上教会で仕えられた榊澤隆雄兄が召天され深い悲しみを共にしましたが、礼拝出席者7名は変わらず前を向いています。主はそれでもご自身に信頼して歩む者たちに祝福の扉を開いてくださいます。ピアノ・オルガン奏樂者が与えられ、聖書朗読者が起こされ、求道者も来るようになりました。次の祈禱課題は、日曜日に幼稚園の子どもたちや保護者の方々、職員さんたちが礼拝に集うことです。そして主イエスを信じる信仰告白へと導かれることです。夏にはバーベキューをしたり、クリスマスにはキャンドルサービスをしたり、本宮教会でも教会が楽しくホッと場所となるよう何とか工夫しています。

これからも教会の源流である福音主義キリスト教に根差しつつ、喜びをもって歩んで参ります。どうぞこれからもお祈りに覚えていただけたら幸いです。こちら本宮の地から祝福をお祈りしています。

「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる」（哀歌3・22〜23）。

伝道報告

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」
ルカによる福音書第10章17節〜20節

伝道推進室より応援した教会・伝道所

朝ごとに新たにされる主の慈しみ

本宮教会牧師 中條 康仁

立は1916年5月20日、来年は創立110年を迎えます。東北学院神学部で学びを受けた初代牧師・吉田菊太郎牧師は、阿武隈川沿いに本宮伝道所を開設し、信徒10名、日曜学校48名の方々を牧会しました。1919年吉田牧師が退くと、その後数名の牧師を経て、赤城英夫牧師（1930年〜36年）、井関磯美牧師（1936年〜57年）が働きを担いました。特に井関牧師時代には力強く宣教が推し進められ、本宮保育園（現本宮幼稚園）の開設、ラクーア博士始めとする音楽伝道団（ラクーア伝道）への積極的な協力等、地域の方々へ熱心に宣教し、信徒15名、日曜学校20名、保育園50名となりました。井関牧師退任後は、安井潤牧師が牧会し（1957年〜2015年）、長らく教会と幼稚園、地域の方々に仕え、また菊地一男牧師、佐藤健牧師・七海牧師等も任せ、2022年からは中條康仁が仕えています。

本宮の歴史は阿武隈川氾濫の歴史と言っても過言ではありません。度重なる氾濫と水害を経て2012年阿武隈川の堤防改修工事が行われました。堤防と道路拡張のために教会用地の一部を売却し、その資金と全国諸教会からの献金を通して新会堂が建てられました。改めて心から感謝申し上げます。しかし喜

びも束の間、2019年台風19号によって再び河川が氾濫し（今度は支流の安達太良川でした）、本宮教会を始めとする河川地域は2メートル強の浸水被害に遭いました。まるでバビロン捕囚によって神殿が失われたのよう、悲嘆と絶望の心境となりました。その時期は毎週信徒宅で礼拝を捧げ、いわき郡山地区の皆さんも泥かきや復旧作業を手伝ってもらいました。共に汗をかくて、無事復旧がなされました。本当に感謝でした。

現在は午後2時から主日礼拝を捧げています。先日70年以上教会で仕えられた榊澤隆雄兄が召天され深い悲しみを共にしましたが、礼拝出席者7名は変わらず前を向いています。主はそれでもご自身に信頼して歩む者たちに祝福の扉を開いてくださいます。ピアノ・オルガン奏樂者が与えられ、聖書朗読者が起こされ、求道者も来るようになりました。次の祈禱課題は、日曜日に幼稚園の子どもたちや保護者の方々、職員さんたちが礼拝に集うことです。そして主イエスを信じる信仰告白へと導かれることです。夏にはバーベキューをしたり、クリスマスにはキャンドルサービスをしたり、本宮教会でも教会が楽しくホッと場所となるよう何とか工夫しています。

これからも教会の源流である福音主義キリスト教に根差しつつ、喜びをもって歩んで参ります。どうぞこれからもお祈りに覚えていただけたら幸いです。こちら本宮の地から祝福をお祈りしています。

「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる」（哀歌3・22〜23）。

《ILGAアジア会議》

アジア各国の性的マイノリティーの状況を共有



Daeun Seoさんと筆者(右)

カナダ合同教会からの支援を受け、2月24日から28日までネパール・カトマンズで開催されたILGA（国際レスビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・インターセックス協会）のアジア地域会議に参加した。アジア各地から約600人が集い各国における性的マイノリティ（LGBTQ+）の権利向上や制度改善の取り組み、困難な状況などを共有し互いの知識、経験から学び合った。

毎日4〜5種類の分科会があり主題講演にはネパールの担当大臣や国連のジェンダー部門代表も参加。ネパールは台湾（2019年）に続き2023年、アジアで2番目に同性婚を認めている。

これほど多くのLGBTQ+が一同に集まる貴重な会議への参加を支援いただき心から感謝である。次回は2027年フィリピン・マニラでの開催。次世代の参加が続くことを願っている。

（上野玲奈報）



河合ゆき江さん

幼児と共に礼拝する恵み



渡島福島教会員

河合さんは、神道の祖父、仏教徒の祖母という家庭で育てられ、仏教の幼稚園に通い、小中学生のころは祖母に連れられてお寺の奉仕をしていました。母が、信者ではないけれどもカトリック教会に足を運んでいたこともあり、高校は函館白百合学園に通った。そして、幼稚園教諭資格を取得するために、今度は仏教の短大に通うというように、流されるままに過ごしていた。

ところが、就職の面接で渡島福島伝道所（当時）を訪れたことで、一変した。「ずいぶんと寄り道をして、ようやくたどり着いたがここにほんとうに神さまがいらっしゃる」と感じたという。幼児と

共に、幼児礼拝で天地創造に始まる聖書物語をワクワクして聴いた。毎週主日礼拝にも出席し、御言葉が自分のために語られていると錯覚するほどに魂に注ぎこまれた。就職した年のクリスマスに受洗に導かれた。

渡島福島教会は青函トンネルの工事の際には20名以上にわたったが、工事の終了と共に減少し、河合さんは教会のさまざまな奉仕を担わねばならなくなった。忙殺されていたときに、当時小学生だった娘がため息をついて言った。「神さまの御用は喜んでここに置かれた御心だと信じている、と河合さんは言う。

幼稚園の働きをとおして、園児が幼い時期に神さまに出会うお手伝いができること、その家族と共に礼拝をさげることが大きな喜びであり、それが、神さまがわたしをここに置かれた御心だと信じている、と河合さんは言う。

3月11日、教団三役で、仙台から白石教会に向かい、東北教区東日本大震災14年記念礼拝に出席し、その後、高橋真人東北教区議長の前導で小高伝道所（福島県南相馬市）に向かった。

小高伝道所は東京電力福島第一原子力発電所から約18kmに位置し、浪江伝道所（福島県双葉郡浪江町。原発から約10km）に次いで、原発に近い教会である。

小高と浪江に10年前に訪問した時、町の様子はまさにゴーストタウン化していた。小高伝道所では、震災時の状況そのまま

の礼拝堂と幼稚園の教室を窓越しに見て、草が伸びている園庭で祈りをささげた。震災前は「薔薇の教会」と称していた浪江伝道所も草が伸び放題で、放射線量がきわめて高かった。

それが、この度訪ねてみたところ、両伝道所ともきれいに草が刈られ、会堂内も整理され、礼拝がなされていた。2022年に飯島信教師が両伝道所の牧

師として赴任し、東北教区をはじめ多くの方たちの協力を得て整えたのである。さらに驚いたのは、震災当日まで運営されていた小高教会幼稚園の卒園生などから声が寄せられ、地域の方たちの集いの会場として用いられているほか、幼稚園等の歴史資料を保管し、展示する記念館の開設が予定されているということである。

原発事故の影響が続く中、地域の方たちと共に歩む教会を覚えて祈り、支えて行きたい。

（教団総会議長 雲然俊美）

小高・浪江伝道所の今